

**今日のトピック 鉄鉱石・石炭価格の動向（2018年8月）  
緩やかに持ち直す鉄鉱石価格**

**ポイント1 持ち直しつつある鉄鉱石価格  
石炭は燃料炭価格が上昇**

- 2018年の鉄鉱石価格は、やや軟調に推移しています。年初1月2日に1トン当たり72.85ドルだった鉄鉱石価格は、7月5日の同62.19ドルまでの下落を経て、8月15日の同66.62ドルまで戻しています。
- 一方、石炭の価格は、原料炭が18年1月2日の同261.40ドルから直近8月15日の同183.70ドルへと下落したのに対し、燃料炭は同期間に同102.65ドルから118.15ドルに上昇しました。

【鉄鉱石・石炭の価格】

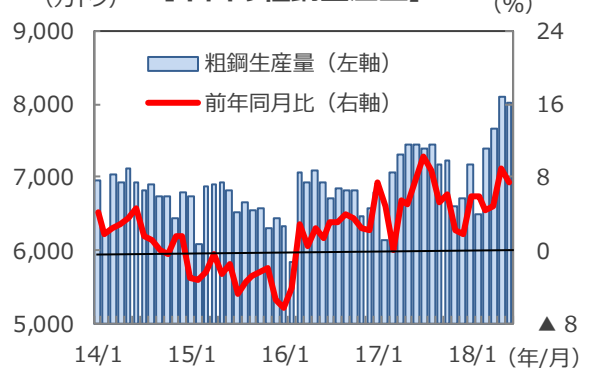


(注) データは2015年6月1日～2018年8月15日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット  
マネジメント作成

**ポイント2 中国の鋼材生産が回復  
燃料炭は中国の気温上昇が影響**

- 米国が2018年3月に、中国や日本等を対象に、鉄鋼・アルミに対して高関税を賦課したことが、鉄鉱石の価格低迷につながったと考えられます。しかし、世界最大の鉄鉱石消費国である中国では、鋼材の在庫調整が進んでいます。粗鋼生産も、持ち直してきました。
- 一方、中国における石炭需要は、政府による環境規制強化の影響を強く受けてきましたが、18年は猛暑の影響等から、火力発電用の燃料炭需要が増大し、価格も上昇しています。

【中国の粗鋼生産量】



(注) データは2014年1月～2018年6月。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセット  
マネジメント作成

**今後の展開 今年後半から鉄鉱石需要、価格は持ち直しが見込まれる**

- 鉄鉱石、石炭の一大消費国である中国では、景気下支えのため、18年後半からインフラ投資の拡大といった経済対策が打たれる予定です。鉄鉱石等の需要、価格にも好影響を及ぼすと見られます。
- 鉄鉱石需要、価格が持ち直せば、資源国である豪州の為替を押し上げる要因になります。豪州の経済が堅調に推移していることと合わせて考えると、豪ドルの対円相場は底堅い展開が期待されます。

**ここもチェック!** 2018年8月 7日 豪州の金融政策は中立を維持 (2018年8月)  
2018年7月26日 拡大軌道に乗る豪州経済 (2018年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。